

## 令和3年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

- 1 児童生徒の発達段階を的確に把握し、自立に向けて可能性を伸ばすことができるよう、合理的配慮を取り入れながら個に応じた教育活動を行う。
- 2 児童生徒の発達段階に応じたキャリア教育及び道徳心・社会性の育成を図る。
- 3 健康で安全な生活習慣の向上を図り、安全安心できれいな学校づくりを進める。

## 2 中期的目標

## 1 地域・保護者の信頼に応えた「安全で安心な学校」の創造

1. 安全で安心な学校となるように防災、防犯の取組みを推進する。
2. 互いの人権が尊重され、だれもが過ごしやすい教育環境を充実する。
3. 地域との連携と支援を充実する。地域高齢者施設と連携した校外活動（清掃）の内容を拡充する。[R3：車いす清掃、R4：周辺地域清掃、R5：居室を含めた施設内清掃]

## 2 どの子もわかる楽しい授業の創造

1. 学びの楽しさを感じ、主体的、積極的に学習活動に参加できる環境の充実に努める。研究テーマに基づき各学部で研究授業を実施し3事例ずつ実践をまとめて冊子に掲載し、3年間で27事例を集約して実践報告集を作成する。[R3：9事例、R4：18事例、R5：27事例]
2. ICTを活用した授業の進め方を研究し授業を活性化し、保護者によるアンケートの満足度を向上する。[R3：70%、R4：75%、R5：80%]
3. キャリア教育を充実し、高等部卒業後の職業的・社会的自立に向けた支援体制を進める。

## 3 健康でたくましい心と体を育てる取組の創造

1. 食の安全を守り、アレルギー対策や医療的ケア体制の充実に努め、保護者によるアンケートの満足度を向上する。[R3：70%、R4：75%、R5：80%]
2. 心身ともに健康を維持し学校生活を送るための保健医療の取組みを進める。

## 4 働き方改革の観点から教職員の健康管理に取り組む

1. 健康を維持し、働くことの楽しさや充実感を感じられる職場環境を構築する。腰痛予防とメンタルヘルスに関する研修を開催し、教員アンケートの満足度を向上する。[R3：70%、R4：75%、R5：80%]
2. 新型コロナウイルス感染症予防の対策に積極的に取り組み感染防止に努める。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和3年12月実施分]	学校運営協議会からの意見															
<p>1. 回収率（1月21日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>小学部</th> <th>中学部</th> <th>高等部</th> <th>全体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>提出者(名)</td> <td>98/109</td> <td>91/112</td> <td>125/153</td> <td>314/374</td> </tr> <tr> <td>回収率</td> <td>89.9%</td> <td>81.3%</td> <td>81.7%</td> <td>84.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【保護者】</p> <p>2. 考察</p> <p>○保護者回収率は昨年度より1.6%減少、教職員は100%達成（昨年度同様）。</p> <p>○「肯定的な評価」の高かった項目（A+B=90%以上の項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容・学校生活の様子を懇談や通信、連絡帳などにより知ることができる。</li> <li>・体育・うんどうの授業を通して、意欲的に運動する習慣を身に付け、体力向上の取組みが行われている。</li> <li>・教職員が子どもの障がいについて理解している。</li> <li>・学習の記録は子どもの学習の到達度が適切に評価されている。</li> <li>・ホームページやすぐメールを通して学校の情報が提供されている。</li> </ul> <p>○「否定的評価」の高かった項目（C+D=10%以上の項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は交流する機会を設けている。</li> <li>・卒業後の進路についての情報提供。進路や職業の指導が不十分である。</li> <li>・将来の進路を見据えて適切な指導や情報提供を行っている。</li> </ul> <p>（新型コロナウイルスの感染防止の観点から交流学習や進路研修や座談会など各種行事を中止したためと思われる。）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設設備は学習環境面で整備されている。</li> </ul> <p>○「分からない」の回答率が高かった項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流する機会を設けている。（新型コロナウイルスの影響で中止）（26%）</li> <li>・ICT機器を使用した授業（具体的な指導方法や成果について保護者が感じるまで至っていない。）（23%）</li> <li>・PTA活動が活発に行われている。（20%）</li> <li>・いじめに対する調査を行い早期解決する体制が整っている。（20%）</li> </ul> <p>≪昨年度課題となっていた「ホームページによる情報提供」についてはコロナ対策についての情報提供が増加したため評価は向上している。一方で感染防止のため交流学習やPTA活動、各種の行事の中止、内容変更があり、評価としては低くなった。次年度は安全対策を継続し、少しずつでも通常行事に取り組みめるように考えねばならない。また、ICT機器購入と授業での活用は進んでいるが、そのことを周知する機会が少なくあまり知られていないことが今後の課題として挙げられる。≫</p>		小学部	中学部	高等部	全体	提出者(名)	98/109	91/112	125/153	314/374	回収率	89.9%	81.3%	81.7%	84.0%	<p>令和3年度テーマ「新型コロナウイルス禍における交流および共同学習」</p> <p>【委員】大学教授、PTA会長、前PTA会長、近隣福祉施設長、地域住民代表等</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 令和3年6月28日（月）10：00～12：00</li> <li>2. 令和3年11月16日（火）10：00～12：00</li> <li>3. 令和4年2月22日（火）10：00～12：00：予定</li> </ol> <p>【形態】新型コロナウイルスの対策として授業見学を中止し、会議時間も短縮するように進めた。【各回の内容】 ⇒は委員からいただいたご意見の主なもの</p> <p>（1）令和3年度の運営体制の紹介。令和3年度学校経営計画の承認。新型コロナウイルス禍における「交流および共同学習」の取り組み紹介。勝山・大阪わかば高等学校との連携事業。WEB会議システムを用いた遠隔授業例紹介等。</p> <p>⇒新型コロナウイルス禍で直接交流は困難であるが、農作業を通じた間接的な交流を進め、食育の取り組みを通して学部間の連携を進めた。オンラインを活用して長期欠席児童生徒と学校の情報交換が進んだことは素晴らしい。とのご意見をいただいた。</p> <p>（2）新型コロナウイルス対策を取り入れた学校行事（交流および共同学習、食育、運動会、修学旅行、文化祭等）の取り組み紹介。</p> <p>⇒防災学習の取り組みを紹介し、地域と連携した交流および共同学習、異年齢集団の交流学習を取り入れた食育の取り組みの状況を報告。</p> <p>（3）【令和3年度学校教育自己診断結果の報告】</p> <p>⇒教職員の自己診断の提出率が100%を3か年継続しているのは教員の学校経営への参画意識が高いと思われる。コロナ対策のためにHPの更新や緊急連絡メールの活用が進み学校の情報がより伝わりやすくなった。一方で授業参観など学校に来ていただく機会が減ったためICT機器の活用場面を見る機会が少なくなり「わからない」という意見が増えている。</p> <p>⇒コロナウイルスのために交流学習やPTA行事が開催できなくなり子どもたちにとっても楽しみにしていることが実施できなかった。</p> <p>【令和3年度学校経営計画評価（案）報告】</p> <p>⇒令和3年度は新型コロナウイルスの対策が大きな課題であったが、運動会や文化祭、水泳学習、修学旅行など大きな行事が安全に実施できたことは良かった。</p> <p>【令和4年度学校経営計画（案）めざす学校像と中期目標の承認】</p> <p>⇒項目が整理されてきた。この計画に基づいて実践して欲しい。</p> <p>【提言事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 新型コロナウイルス対策を十分にして保護者が学校を訪問できる機会を増やしてほしい。</li> <li>② 交流及び共同学習や地域との交流の機会を増やしてほしい。</li> <li>③ ICT機器の効果的な活用を進め、保護者へも積極的に周知してほしい。</li> </ol>
	小学部	中学部	高等部	全体												
提出者(名)	98/109	91/112	125/153	314/374												
回収率	89.9%	81.3%	81.7%	84.0%												

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R2年度値]	自己評価
1、地域・保護者の信頼に応えた「安全で安心な学校」の創造	1. 安全で安心な学校となるように防災、防犯の取組みを推進する。	<p>(1) 様々な自然災害に備えるための学校体制を充実するとともに、各種マニュアルを整備し実効性のある緊急時シミュレーションを実施する。PTA、地域とも連携し、校内の危険を防止するための対策を進める。</p> <p>①BCPに基づいて、各教職員の任務分担を点検する。</p> <p>②実際の災害時を想定して教職員による実践的な避難訓練を実施する。</p> <p>③PTAと連携し、防災の意識を高めるための校内研修を実施する。</p> <p>④PTAも参加する避難訓練を実施する。(1回)</p> <p>⑤児童生徒対象に、地震、台風、洪水等を想定した避難訓練を実施する。</p> <p>⑥バス乗車時の避難方法について検討し、通学バス乗車時の災害マニュアルを作成する。</p> <p>校内の備蓄品を点検し、PTAと連携して新たに</p> <p>⑦個人備蓄品の整備について検討する。</p> <p>⑧すぐメールの加入率を向上する。</p> <p>⑨防犯研修を実施するとともに、カメラを複数台設置し、教職員の防犯意識を向上する。</p>	<p>① BCP を再点検し8月頃までに完成する</p> <p>② 緊急時の引き渡し訓練実施(1回)</p> <p>③ 研修実施回数(1回)</p> <p>④ 合同避難訓練実施(1回)</p> <p>⑤ テーマごとの避難訓練実施回数(4回)</p> <p>⑥ 8月頃までにマニュアル作成</p> <p>⑦ 8月頃までに個人備蓄について校内での保管場所と方法等についての検討を進める</p> <p>⑧ 教職員99%、保護者95%を維持する[99%、95%]</p> <p>⑨ 生野警察と連携した防犯研修実施(1回)</p>	<p>① 6月に完成し、HPに掲載した(◎)</p> <p>② 4月末に訓練を実施した(◎)</p> <p>③ 3月に実施予定(○)</p> <p>④ 新型コロナウイルスにより合同訓練は中止(-)</p> <p>⑤ 6月(火災)、9月(地震津波)、1月(火災)計3回実施(△)</p> <p>⑥ BCPに他校のマニュアルを参考に作成した暫定版を掲載した。本校の実態に合わせて次年度以降見直しが必要。(△)</p> <p>⑦ 個人備蓄についてはPTAの協力を得られることが決まり、鞆を業者に見積もりを依頼中(○)保管場所等を検討中</p> <p>⑧ 教職員99%、保護者95%加入(◎)</p> <p>⑨ コロナウイルスにより派遣を断られる(-)</p>
	2. 互いの人権が尊重され、だれもが過ごしやすい教育環境の充実	<p>(2) 人権が守られ過ごしやすい学校生活を送るための環境を整備し、学校の情報を積極的に発信し開かれた学校となるように進める。</p> <p>①人権尊重の教職員研修を実施する(年2回)</p> <p>②各種ハラスメントの相談体制を充実する。</p> <p>③人権に関する研修に教員を派遣する。</p>	<p>① LGBT、障がい理解に関する人権研修を実施(2回)</p> <p>② ハラスメントをテーマにした研修を開催し、教職員の理解を深める(1回)</p> <p>③ 教育センターでの研修に各学部から1名を参加させる。(3名)</p>	<p>① LGBTQについての校内研修を8月に開催(○)同和教育に関して1月に開催(○)校内初任者研修にて障がい理解に関する研修を実施した。初任者11名+任意参加者8名</p> <p>② 校内研修開催を自粛(-)</p> <p>③ センター研修を受講(1名のみ)(△)</p>
	3. 地域との連携と支援の充実	<p>(3) 地域支援体制の充実</p> <p>支援相談部を中心に域内の幼保小中高等学校への支援相談の内容を充実し地域の支援教育力の向上に資する。</p> <p>① 支援教育講座を開催し地域への情報提供を行う。</p> <p>② 臨時休業時にも活用できる映像教材等を制作する。</p> <p>③ 小中学校等のコーディネーターとの交流会を開催する。</p> <p>④ 交流および共同学習の機会を復活する。</p>	<p>(3)</p> <p>① 支援教育講座開催(オンライン含む)(3回)</p> <p>② 映像教材を制作(3本)する。</p> <p>③ 交流会開催(オンラインを含む)(1回)</p> <p>④ 居住地校交流を再開する[0件]</p>	<p>① 支援教育講座開講(3回)(◎)</p> <p>② 映像教材は未作成(△)</p> <p>③ 2月に開催予定(○)</p> <p>④ 未実施(-)小中学校との居住地校交流は実施できなかったが、農作業を通じた高等学校・保育園との交流を実施した。6月非対面での交流(1回)11月に対面を伴った「芋ほり交流」の機会を持つことができた。(2件)(△)</p>

## 府立生野支援学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2、 どの子もわかる楽しい授業の創造</p>	<p>1. 学びの楽しさを感じ、主体的、積極的に学習活動に参加できる環境の充実</p> <p>2. ICT を活用した授業の進め方を研究し授業を活性化する。</p> <p>3. キャリア教育を充実し、高等部卒業後の就労に向けた支援を進める。</p>	<p>(1) 主体的で深い学びをめざした、児童生徒が考えて動ける楽しい授業をつくる</p> <p>①校内研修体制を見直し学習指導法や児童生徒理解を深める。</p> <p>②他学部や他学年の授業見学をする。</p> <p>(2) ICT 環境を充実するとともに、個のニーズに合わせて合理的配慮のある授業を構築する</p> <p>①大型モニターの設置台数を増やす。</p> <p>②ICT の活用率を向上する。</p> <p>③WEB 会議システムを用いて長期欠席者との交流を実施する。</p> <p>④ICT の活用をテーマに外部講師を招き研修を実施する。</p> <p>(3) 社会に開かれた教育課程をつくり、より実践的なキャリア教育推進をめざす</p> <p>①高等部の各コースの活動内容を精選充実し、学習に必要な物品を購入する。</p> <p>②校外販売学習と清掃学習に取り組む。</p> <p>③校内販売学習の実施を継続する。</p> <p>④校内印刷学習を継続する。</p> <p>⑤高等部卒業後の就労率を向上する。</p>	<p>(1)</p> <p>①学習指導法、児童生徒理解に係る研修実施(3回)</p> <p>②他学部等見学者数 20 人 [10 人]</p> <p>(2)</p> <p>① モニター購入 5 台</p> <p>② 保護者アンケートの満足度を 80%にする[R 1 =64, R 2 =61]</p> <p>③ 長期欠席者との交流実施(3回)</p> <p>④ 研修実施(2回)</p> <p>(3)</p> <p>① キャリアアップ、ワーキング、トライの各コースの学習内容を見直し、印刷機、掃除機、耕運機等必要な物品を購入する。</p> <p>② 地域行事での販売学習への参加を試みる(1回) 校外での清掃学習実施(3回) [2回]</p> <p>③ 校内販売学習の実施を継続する[1回]</p> <p>④ 校内での印刷物依頼件数を維持する。[5件]</p> <p>⑤ 就労率を 20%とする。[R 1 : 14%、R 2 : 7%]</p>	<p>① 8月に「強度行動障害の理解」と「コロナ禍における心理的不安」の研修2回開催(○)</p> <p>② 他学部の授業見学者：のべ約 30 人(○)</p> <p>① モニター購入 20 台(○)</p> <p>② 満足度向上(△) R3=(63)%機器は増えたが活用方法などを保護者が見る機会は減少した。</p> <p>③ 小学部と高等部で WEB 会議システムを活用した交流を実施各学部で 1 人以上実施(回数未定○)</p> <p>④ 12 月末に 1 回開催(○)</p> <p>① 物品購入済(耕運機、草刈り機など)(○)</p> <p>② 地域での販売学習(一) 校外清掃(一)</p> <p>③ 校内販売学習(2月)実施(○)</p> <p>④ 校内受注印刷物 5 件(○)実際にはそれ以上に実施できた。</p> <p>⑤ 企業就労率 R3=(10)% (△) 昨年度より増加したが大きくは変化なし。</p>
---	--	--	--	---

## 府立生野支援学校

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">3、健康でたくましい心と体を育てる取組の創造</p>	<p>1. 食の安全を守り、アレルギー対策や医療的ケア体制の充実を図る</p> <p>2. 心身ともに健康を維持し学校生活を送るための保健医療の取組みを進める。</p>	<p>(1) 食育の推進</p> <p>①学校全体で食育を推進する体制を整備する。</p> <p>②保護者へは給食だより等で情報を発信し、学校給食への理解を深めていく。</p> <p>③給食試食会を設けて学校給食への理解を深めていく。</p> <p>④児童生徒へは食育の授業を進めて食への関心を高める。食育として児童生徒が野菜の下処理等に参加する。</p> <p>⑤校内農園で野菜を栽培し給食食材の一部にする。</p> <p>(2) 健康相談体制の充実と拡充</p> <p>①健康相談（歯科、内科、精神科、眼科、耳鼻科）の充実</p> <p>②PT、OT、ST、臨床心理士等福祉医療人材活用を進め、助言を個別の指導計画に生かす工夫をする。</p> <p>③学校保健委員会を開催し、保護者とともに心身の健康について意識を高める。</p> <p>(3) 医療的ケア安全委員会から、研修と緊急時シミュレーションを実施する</p> <p>(4) 新型コロナウイルスの対策に取り組む</p>	<p>(1)</p> <p>① 食育委員会開催（3回）</p> <p>② 給食だより発行（10回） [10回]</p> <p>③ 試食会実施（1回） 参加者数30名をめざす [R1：20名、R2：-]</p> <p>④ 野菜の下処理等への参加グループ（10件） [R1：3グループ、R2：-]</p> <p>⑤ 野菜栽培の参加グループ（10件） [7グループ]</p> <p>(2)</p> <p>①相談希望者数を増加する[20件]</p> <p>②PT、OT、ST、臨床心理士の要請回数を増加する [PT、OT、ST各3回、臨7回]</p> <p>③学校保健委員会開催（1回）保護者の参加者数を増やす（20%増加）[3名]</p> <p>(3)</p> <p>①研修実施2回</p> <p>②実際場面を想定したシミュレーションを実施（3回）</p> <p>(4)</p> <p>①修学旅行・宿泊行事等が安全に実施できるように校内マニュアル（行事用）を整備する。</p> <p>② 新型コロナ対策委員会の情報をメールで送信し早期の共有化を図る。</p>	<p>① 食育委員会開催2回（△）</p> <p>② 給食だより発行（○：11回予定）</p> <p>③ 試食会未実施（-）コロナ対策のため未実施</p> <p>④ 野菜の皮むき体験（エンドウ、ソラマメ、玉ねぎ、とうもろこし）小学部各学年児童と中学部、高等部抽出生徒が共同で取り組む（7回◎）</p> <p>⑤ 各学部から参加希望（10件）があり、給食食材として2グループが提供した。（○）その他、給食会主催の献立コンテストに応募した。（○）</p> <p>① 相談希望者数（12件）精神科相談と支援教育相談に集中する傾向がある。相談希望はあったが新型コロナの影響で相談日を検診日に置き換えるなどして相談回数が少なくなった。（○）</p> <p>② PT、OT、ST、臨床心理士の要請回数は[PT、OT、ST各3回、臨7回]と変化なし（○）</p> <p>③ 学校保健委員会開催（3月1日）保護者参加者数2名（△）</p> <p>① 研修は看護師が講師となり開催2回（○）</p> <p>② 医療的ケアに関するシミュレーションは対象生徒が入院したため今年度は実施せず（△）</p> <p>① 緊急事態宣言に伴ってマニュアルを改訂（2回）し特に宿泊行事での対応に備えた（○）</p> <p>② 「緊急一斉メール」のアプリを用いて、各家庭、教職員への連絡を進め委員会での情報を速やかに伝達できた。（○）</p>
---	--	--	--	---

## 府立生野支援学校

<p>4、働き方改革の観点から教職員の健康管理に取り組む</p>	<p>1. 健康を維持し、働くことの楽しさや充実感を感じられる職場環境を構築する</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症予防の対策に積極的に取り組み感染防止に努める。</p>	<p>(1) 分掌業務内容の見直しと業務分担を平準化し、校務分掌検討を進める。</p> <p>① 新しく開設した総務部の業務内容を見直し校務遂行状況を検証する。</p> <p>② 新しい会議ルールの定着を進め、会議時間の短縮を図る。</p> <p>③ コロナウイルス感染防止のため WEB 会議システムの活用を進める</p> <p>(2) 安全衛生委員会による教職員の健康で安全な労働環境の保全を進める。</p> <p>① 安全衛生委員会による校内巡視や危険個所の点検を進め、早急な補修や取り換えを進める。</p> <p>② 腰痛予防講座を実施し、健康の保持に努める。</p> <p>③ メンタルヘルスに関する研修を開催する</p> <p>(3) 時間外勤務の縮減</p> <p>① 月に1回「ゆとりの日」を設けて定時に退勤できるようにする。</p> <p>② 週に1回「定時退勤日」を設けて19時には全員が退勤できるように、安全衛生委員会から定時退庁を呼びかける。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス対策委員会を組織し、マニュアルの整備を進め、消毒等の対策を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>① デイサービス担当分掌を総務部に委嘱し円滑な引継ぎを進める。</p> <p>② 企画運営委員会での会議資料の事前配布ルールを定着し、課業内での開催を進める(11回)</p> <p>③ 職員会議と各部会の7割をWEB会議とし安全に実施できるようにする。</p> <p>(2)</p> <p>① 安全衛生委員による定期的な校内巡視と点検を進める。(6回)[5回]</p> <p>② 腰痛予防講座参加者数を20%増加する。 [R1:15名、R2:-]</p> <p>③メンタルヘルス研修実施(1回)</p> <p>(3)</p> <p>①時間外勤務80時間越えの者0%を維持する [0名]</p> <p>②「定時退勤日」の朝の連絡での呼びかけを毎週行う。</p> <p>(1)</p> <p>①対策委員会の情報共有を積極的に進め、メールでの連絡体制を整備する。</p> <p>②SSS(2名)及び学習支援員(3名)を活用して校内の消毒体制等を充実する。</p>	<p>① デイサービス業務について他校に教員を派遣して情報を収集した。分掌への委嘱には至らず、次年度にかけて再検討を継続する(△)</p> <p>② 会議資料は事前配布がほぼ定着し、会議時間も短縮が図れた。11回開催(◎)</p> <p>③ 職員会議ではWEBを用いた会議は100%になったが各学部会では、人数も少ないため集合型で距離をとって時間を短くして実施した(○)</p> <p>① 校内巡視と点検(6回)(○)</p> <p>② 腰痛予防講座は12月に実施したが、個別の相談形式に改められたため参加者数は減少した(5人)(-)</p> <p>③ メンタルヘルスの研修は未実施だが、臨床心理士に依頼してコロナ禍での教員のストレスに関する研修を実施:1回(○)</p> <p>① 80時間を越えたものが1人あった(△)</p> <p>② 朝の連絡会での定期的な呼びかけを行い、午後7時までの退勤はほぼ定着してきた。(○)</p> <p>① 「SNS」のアプリを用いて、委員会のメンバー間の連絡を集合しなくても迅速に進めることができた。(○)</p> <p>② SSSは2名雇用し年間通じて校内の消毒作業を進めた。学習支援員は大学生を募集し3人の時間枠を活用して、児童生徒への支援を進めた(◎)</p>
----------------------------------	--	--	--	--